

令和 8 年第 2 回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明

おはようございます。

本日、ここに令和８年第２回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には御出席くださいます、誠にありがとうございます。

初めに、５月１２日に防衛省を訪問し、「馬毛島の自衛隊施設整備に関する要望書」を提出してまいりました。米軍機による本市上空飛行や騒音問題など、市民の不安解消につながる実効性ある対応や、現地視察、協議の場の開催など求めてまいりました。

また、併せて地元選出国會議員や各省庁に対して、燃油価格高騰を踏まえた離島振興施策の強化に関する要望を行ってまいりました。燃油価格の動向が離島住民の生活や経済に直接的かつ広範な影響を及ぼすことを踏まえ、国による一層の対策や支援を求めたところでございます。

次に第１回定例会以降に行われた市のイベントなどの取り組みについてご紹介いたします。

去る４月７日にしおさい留学の歓迎会を行い、今年度は、親子留学１６名、里親留学６名、孫戻し留学４名、計２６名を迎えることができました。

４月１１日のクルーズ船、バイキング・エデン号を皮切りに、飛鳥

Ⅱ、初寄港の飛鳥Ⅲ、ミツイオーシャンフジが寄港しました。これまで計 5 回、延べ約 2,400 名が来島し、本市の特産品販売、火縄銃試射等、本市の魅力を充分伝えられたと感じています。今後も 9 回のクルーズ船寄港が予定されていますので、商店街等、各団体との連携を強化し、機会を活かしてまいります。

4 月 18 日から 19 日にかけては、種子島観光協会と連携し、デカイカハンター in 種子島とキッチンカーキャラバン in 種子島を同時開催しました。釣りイベントには、島内外から約 120 名の参加、キッチンカーキャラバンには市民 1,400 人の家族連れの方々が来場し、大いに賑わったところです。

5 月 10 日には、まちかどインフォメーションセンターにおいて、母の日マルシェを開催し、多くの出店と来場者でにぎわいました。

4 月に新設した歴史文化課では、地域に受け継がれてきた歴史や文化を次世代へ継承するとともに、文化財や歴史文化資源を地域づくりやまちづくりに活かす取組を進めております。

5 月 1 日には、歴史文化活用係が現和小学校 3 年生の 8 人を対象に、校内外の史跡をクイズ形式で学ぶ出前授業を行いました。

参加した児童からは、「もっと現和のことを知りたくなった」という声も聞かれ、地域の歴史や文化への関心を深める機会となりました。

また、5月5日のこどもの日には、今年も鉄砲館を、小中・高校生は無料入館とし、無料入館 124 人を含む約 300 人の入館がありました。

当日は、戦国時代の衣装体験や展示資料に関するクイズなども開催し、多くの親子連れでにぎわいました。

次に農林水産業の状況について報告をいたします。

まず、令和7年度農業生産概況につきまして、概算値ではありますが農業・畜産業を合わせて粗生産額が58億6,141万円となり、昨年度と比較して約5億850万円の増となっております。

主要品目の生産概況については、基幹作物であるサトウキビが生産量5万3,039トン、平均反収7トン461キロ、生産額11億7,203万円となり対前年度比1億19万円の増収となりました。

さつまいもについては、サツマイモ基腐病対策効果により被害が抑制され、さつまいも全体の平均反収は2,140キロと向上したものの、さとうきびへの転換等により作付面積の減少に歯止めがかからず、生産額8億3,602万円となり、対前年比約1,216万円の減収となりました。

サツマイモ基腐病対策につきましては、引き続き、関係機関と連携し、圃場の巡回、農家への情報提供及び技術指導等に取り組んでまいります。

園芸品目の主要作物であるバレイショにつきましては、面積の減少に加え、そうか病被害や霜^{そうがい}害等もありましたが、生産量は３％の減少に留まり、期間を通して高単価で推移したことから昨年比 8,012万円増の 5 億7,890万円となる見込みであります。

なお、６月２日に接近した台風６号につきまして、通過後に行った被害調査によりますと、農作物においては、さつまいもの初期の生育において根回し、葉痛み、収穫期を迎えている葉たばこについても、一部のは場で落葉がありましたが、全体として大きな被害には至っていないという状況であります。

次に、畜産についてです。肉用牛の子牛は、せり市価格の上昇が続き、前年度より 1 億7,852万円増の10億4,933万円となりました。

酪農の生乳は、生乳生産量が増加したことで、昨年に比べ3,947万円増の 8 億3,028万円となり、畜産全体では、昨年に比べ 1 億9,492万円増の19億8,594万円となりました。

一方、依然として資材価格高騰の影響により生産コストが高止まりしており、厳しい生産環境下が続いております。

鳥獣による農業被害額については、農業者アンケートによると 40万円となっており、前年度より約90％減少しました。引き続き、被害防止に向け、捕獲活動への支援、ネット・金網柵による防護対策に努めてまいります。

林業については、離島活性化交付金を活用し、林産品の島外出荷に係る海上輸送費の支援を実施しました。

木材チップ2,995BDT、原木2,478立米、製材39立米、その他林産品が770箱の出荷実績となりました。

水産業の状況ですが、種子島漁協における令和7年度の本市の水揚げ実績は、前年度比848万円増の3億3,463万円となりました。

しかし直近のモジャコ漁につきましては、ここ数年のなかでも非常に厳しい状況と伺っており、引き続き漁業者への操業支援対策に取り組んでまいります。

それでは、本日提案いたしました議案についてご説明いたします。

報告第2号から第9号までは、専決処分した条例の一部改正条例、及び令和7年度補正予算について議会の承認を求めるもの、報告第10号から12号までは、繰越計算書3件について議会に報告するものです。

議案第27号から第42号までは人事案件で、固定資産評価審査委員会委員、及び公平委員会委員の選任、並びに農業委員会委員の任命について議会の同意を求めるものです。

議案第43号は辺地に係る公共的施設の総合計画の策定について、議案第44号は配水池耐震化事業請負契約について、議案第45号は印鑑条例の一部改正について、議案第46号は西之表市道路線の廃止について、議会の議決を求めるものです。

議案第 47 号から第 52 号までは、令和 8 年度西之表市一般会計及び特別会計等の補正予算であります。

一般会計補正予算の主なものは、令和 7 年度の市たばこ税収入額が、国が定める課税定額を超えたことによる市たばこ税県交付金を含む財政管理費に 2,943 万 6 千円、スマートアイランド推進実証調査業務の採択に伴う電算管理費に 1,539 万 8 千円、地域電子通貨の利用増加に伴う商工振興費に 3 億 2,501 万 2 千円、その他、5 月 11 日より燃料油価格変動調整金の見直しによる高速船料金値上げに伴う各費目に旅費の増額と、4 月 1 日付け人事異動に伴う人件費の増減を計上しております。

この結果、歳入歳出予算の総額に 3 億 7,881 万 1 千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 162 億 5,881 万 1 千円とするものであります。

以上、専決処分の承認 8 件、繰越計算書の報告 3 件、人事案件議案 16 件、計画関連議案 1 件、契約関連議案 1 件、条例の改正議案 1 件、市道路線の廃止 1 件、令和 8 年度補正予算関連議案 6 件の合計 37 件であります。

なお、後日、議案の追加を予定しておりますので、御審議のほどよろしくお願いいたします。

以上で私の市政に対する所信表明及び提案理由の説明といたします。ありがとうございました。

令和8年6月12日

西之表市長 八板 俊輔